

第二回の大舉出縣は 問題の 見てから決行 展開を

知事の誠意に感じ

第二回出縣請願團は既記の如く数日間の糧食や天幕を用意し千名以上の人数を以つて縣廳に向ふべく決議したが氣早の連中は切齒扼腕して決行の期の一日も速やかならんと事同盟會幹部に迫り幹部又其意を諒として着々準備を急ぎ既に大半の用意を了したる處昨日前縣會議員鈴木辰三郎氏は協榮亭に於て同盟會常任委員の參集を

多數民衆の利害を

一致せねば取消す

平町の近情を見て

大瀧發電所の問題に就て香坂知事は語る「大瀧發電所は最初何等の故障が無いものとして之を許可したが其後平町の近情を見ると色々な關係があるらしい、縣としては一旦許可したものであれば其許可を取消さない云ふことはいささか許す可くも其後の調査で多くの民衆の利害と一致する事が出来ない」と判明すれば取消しても宜いと思ふ然し平町民には此際自重して問題の成行を見て居て貰ひ度い

鎌田耕地の 苗代問題 稲汁の被害を

平町鎌田の耕地の苗代枯死問題は水質検査の結果菓子製造業小野寺文二郎方の稲汁流入する爲めと判明し四十間の土管を装置し排水を改むべく決したのが當時所報の如くであるが小野寺は未だに土管設置の工事を施さない爲め高島猪野吉が耕地所有者の代表となつて稲苗一萬束二百圓と見積り本平町區才判所に損害賠償の訴訟を提起した

磐女生の水泳 平町

立憲青年會員 昨夜歸平す

驛頭の賑ひ

石城立憲青年會にては大瀧發電所取消運動の爲め上京中の處昨夜九時卅分平驛着

自動車廿二輛平町へ

世田ヶ谷自動車隊の行軍

一行百五名宿營

一時雨天の爲め延期された世田ヶ谷自動車隊の行軍は来る十一日平町に來り當夜宿營すべき筈であつて人員は准士官以上十名下士以下九十五名自動車は廿二輛である

雨量が尠く 變態的な急候

變態的な急候

本年は氣象的に見て一般農作物の樂觀を許さない状況にあるが農商課で調査した處に依ると六月下旬の平均氣温二十度四降水量三ミリ二日照時間六十二時二分で最も稲作に甚大の關係を有するの氣温である昨年同期の平均氣温十九度七に對して〇七度の高温を示し幾分の安心を與へられた者の

カテゴリー

飲料水に就いて

飲料水としては蒸餾水は不適當なものです。何となれば瓦斯や石灰分等の必要な物をふくまぬからです。それのみならず、餘り速かに胃壁に侵入するため胃を害ふ恐れがあります。英語でいふサイダーは林檎の汁を

十萬圓

去月迄に漁獲

本縣水産試験場調査による去月卅日迄の鰹及マグロの漁高獲は双葉郡請戸濱以南石城郡小名濱迄の漁場にて八萬七千九百九十九尾此總價格十萬二千二百五十八圓なりと

頭を割つて

幼児の慘死

石城郡内郷村大字宮内内酸酵したもので、四乃至八パーセントのアルコールを含む飲料ですが、日本のはこの模造品で、炭酸瓦斯を充分に含ませた砂糖クエン酸リンゴ酸リンゴ精等をこかしたものです、シトロンはクエンのことですが、實際は炭酸瓦斯をふくんだ飲料です、ラムネ、ソーダ水は何れも炭酸水です、清涼飲料の見分け方は瓶をさか

深瀬に溺る

危険な水泳

石城郡内郷村大字宮平太郎雜貨商喜三郎の長女阿部ミトリ(九)は二日午後一時頃附近の川にて水泳を爲し居たるが思はず深瀬に這入り其儘溺死した

不平受付

投書歡迎

児童保護會の贊否 児童保護會に申込をしない者は當然反對と見るべきに拘らず受持教員が心なき兒童に贊否を保護者から聞き取るべしと強請する爲め小供は非常に困て居ます(無名氏)

出生

出

△研町 當時石城郡澤渡村大字下市 菅佐藤惣四郎氏五男武
△舊城跡 伊藤實氏二男慶一
△南町 高橋平次郎氏二女秀子
△一丁目 高木喜一郎氏長男益太郎
△鎌田町 志賀朝治氏長男芳一
△南町 仲井幸吉氏二女トキ

結婚

婚

△石城郡大野村 緒方三郎氏(三〇) 北目町鈴木カネ(二二)
△石城郡湯本町若松勇(三三) 紺屋町柳下アイ(二二)

雜誌野の泉

石城郡内郷村濱井野の泉社から文藝雜誌「野の泉」の六月號發行されたが定價は卅錢にて内容の整つた感じのよい体裁を保つて居る

圓滑に

なりませぬ

後者の場合は應急手當は一才困難です、兎に角も一番よい方法は入梅時や雨天の際ピアノのそこに暖房装置をなして毎日の一時間以上彈奏しておくのがなによ

變化を

來たすやう

て、この季節にはマンドリンやヴィオラの糸が切れ易いによつて明らかです、ひどい濕氣がかかるヴィオラの指板と胴が離れたり、胴板に濕氣がふくまれて音色に

大禁物

でありまし

ます楽器には濕氣が